

44. 薬剤師外来活動状況調査

研究の概要

がん対策基本計画において、化学療法のさらなる充実とチーム医療の推進が謳われ、専門・認定薬剤師等を適正に配置し、患者さんの副作用や苦痛に対して継続的に対応できる診療体制を整備することが目標として掲げられています。国立病院機構熊本医療センターでは平成29年6月より薬剤師外来を設置し、外来化学療法センターで注射用抗がん剤を投与する患者さんに対する継続的な介入および外来で経口抗がん剤を導入する腫瘍内科・外科・消化器内科の患者さんへの初回指導を行っています。そこで今回、これまでの薬剤師外来における薬剤師の活動状況を調査し、その効果や問題点を抽出することで、今後の薬剤師外来の質向上に結びつけることを目的とし、観察研究を計画しました。

研究の目的と方法

本研究では、2017年6月1日から2018年12月31日までの間に、国立病院機構熊本医療センター外来化学療法センターで注射用抗がん剤を投与した患者さんおよび外来で経口抗がん剤を導入した腫瘍内科・外科・消化器内科の患者さんを対象としています。日常診療で得られた臨床データ（年齢、性別、疾患名、抗癌剤投与量、使用した支持療法薬、採決結果など）を電子カルテから集計します。

本研究の参加について

これにより患者さまに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させて頂くことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございました際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。研究対象者（患者さま）の個人情報（氏名、住所、電話番号、カルテ番号など）は記載せず、対応表を作成して管理しますので、個人情報は特定されません。

調査期間

研究期間：倫理委員会承認後～2019年3月31日（調査対象期間：2017年6月1日～2018年12月31日）

研究成果の発表

調査した患者さまのデータは、学会や論文で発表しますが、個人が特定されることはありません。

研究代表者

薬剤部 大橋邦央

当院における研究責任者

薬剤部 大橋邦央

問い合わせ先

薬剤部 大橋邦央

TEL: 096-353-6501